

▼メンドンカプセル [内]

【重要度】 【一般製剤名】 クロラゼパ酸二カリウム clorazepate dipotassium 【分類】 抗不安剤 [BZ系]

【単位】 ▼7.5mg錠

【常用量】 15～30mg/日

【用法】 分2～4

【透析患者への投与方法】 排泄が遅延し、高い血中濃度が持続するおそれがあるため慎重投与 (1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 排泄が遅延し、高い血中濃度が持続するおそれがあるため慎重投与 (1)

【特徴】 活性代謝物を有し、半減期の長い長時間作用型マイナートランキライザー。神経症における不安、焦燥、抑うつに有効。

【主な副作用・毒性】 依存性、錯乱、眠気、めまい、ふらつき、易疲労感、脱力感、倦怠感、肝機能検査値異常、消化器症状、発疹、筋緊張低下作用、排尿困難、視力障害、浮腫など。中毒症状として眼振、運動失調、昏睡等があらわれる。自動車の運転など危険を伴う機械の操作に従事させない。

【F】 資料なし (1) 100% (Ochs HR, et al: Klin Wochenschr 60: 411-5, 1982 PMID: 6124654)

【tmax】 0.5～1hr (1)

【代謝】 血漿中では脱炭酸された主代謝物のノルジアゼパムとして存在 (1) ノルジアゼパムは、オキサゼパム、パラヒドロキシジアゼパムあるいはその抱合体に代謝 (1) 水酸化には CYP3A が関与 (1) 未変化体と主代謝物の活性は同程度 (1)

【排泄】 尿中回収率 62～67% [po, 10 日まで] (1) 【CL】 0.24mL/min/kg (Ochs HR, et al: Klin Wochenschr 60: 411-5, 1982 PMID: 6124654) デスマチル体として 12.3mL/min (Greenblatt DJ, et al: J Clin Pharmacol 28: 853-9, 1988 PMID: 2906643)

【t1/2】 24hr 以上 (1) N-デスマチルジアゼパムとして 53±6hr (Post C, et al: Psychopharmacology (Berl) 53: 105-9, 1977) 65hr (Ochs HR, et al: Klin Wochenschr 60: 411-5, 1982 PMID: 6124654) 肥満者で延長 (Abernethy DR, et al: J Pharm Sci 71: 942-4, 1982 PMID: 6811726) 46hr [iv] (Bertler A, et al: Psychopharmacology (Berl) 80: 236-9, 1983 PMID: 6137019)

【蛋白結合率】 98% (1)

【Vd】 資料なし (1) 1.13±0.08L/kg (Post C, et al: Psychopharmacology (Berl) 53: 105-9, 1977) 1.24L/kg [iv] (Ochs HR, et al: Klin Wochenschr 60: 411-5, 1982 PMID: 6124654)

【MW】 408.92

【透析性】 資料なし (1)

【OW 係数】 資料なし (1) 【薬物動態】 線形 (Post C, et al: Psychopharmacology (Berl) 53: 105-109, 1977)

【相互作用】 CYP3A を阻害するリトナビルと併用禁忌 (1) 中枢神経抑制剤と併用注意 (1) プロプラノロール併用にて CL が軽度低下し、喫煙の影響は認めない (Ochs HR, et al: Klin Wochenschr 64: 1217-21, 1986 PMID: 2879960)

【更新日】 20190704

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配付を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。